

タイトル	各教科で汎用的に活用できる説明力の向上をめざして
がっこうめい 学校名	四條畷市立忍ヶ丘小学校

取り組みの概要

話したり、書いたり表現方法を変えながら活用していく4つの力!!

じじっせつめい
事実説明

りゅうせつめい
理由説明

ほうほうせつめい
方法説明

かんが せつめい
考え説明

子どもたちの課題をリアルに

「課題設定文」をなぜ設定するのか。それは、自分たちの学びを自分事として捉えてほしいからです。課題設定文の中には、目的・状況・評価・作品が盛り込まれています。この中に、評価を入れることで、児童と

日本には工芸品というものがあります。工芸品について知り、どのようなみりよくがあるのか調べましょう。工芸品についての本を読んだり、インターネットで調べたりして分かったことをまとめましょう。その中から、工芸品のよさや、どんな使われ方や伝統を残してきたのか具体例をいれてリーフレットにしましょう。リーフレットには、写真も入れ、伝えたいことを分かるようにしましょう。作ったリーフレットは図書室に飾りたいと思います。たくさんの人に読んでもらいたいですね。



教職員が作品にどのような要素が入ればよいのか共有することができます。また、「相手意識」をもたせることも重要となります。作った作品は誰と、どのように共有するのか見据えて学習に取り組んでいくようにしています。この課題設定文は、学習の最初に児童と確認しています。学習ファイルの表紙に載せたものや掲示しているものもあります。国語だけでなく他教科でも活用することで、どの学年・クラスでも共通して学びを進めていくことができます。



ぼく・わたしには どんな学び方がいいのだろう?

「自主学習って調べ学習だけじゃない!」「では、どんなことすればいいの?」「自分にぴったりの学び方ってなんだろう?」「他の人はどんなことをしているのだろうか?」そんな時こそ、この木の葉を見て自分の学び方のヒントにしています。自分が自主学習でどのようなことをしたのか書いて貼っています。これを見て、「やってみよう」「次はこれを試してみようかな」と自分の学び方の枝葉を広げてほしいと思っています。